

学校だより：

岩中レポート

第3号 令和2年4月22日（水）発行 発行責任者 校長 馬場廣明

生徒たちが元気に登校、久しぶりの学校に笑顔！！

～ 子どもたちの元気な笑い声があつての学校です。久しぶりに活気を感じました！ ～

4月22日（水）、全校生徒が学年の時間に合わせて登校しました。クラスメイトと久しぶりの再会とあって、マスクはしていましたが、みんな笑顔で本当にいい表情でした。各学年、多目的ホールで生活の仕方や学習の進め方などについて、学年の先生よりお話がありました。次に会えるのはゴールデンウィーク明けの5月7日（木）です。本当にこの日から通常の学校生活に戻ってくれることを祈るばかりです。「全校生徒の皆さん並びに、保護者やご家族の皆様、絶対にコロナウイルスに負けないでくださいね。もう少しの我慢です。いっしょに乗り切りましょう。」また、登校日には須賀川市教育委員会 森合義衛 教育長より保護者の皆様宛に2種類のプリントを配付いたしました。よくご覧いただきおさまの今後の家庭生活に役立てていただければと思います。よろしくお願いたします。

【3年生の様子から】 [午前9時登校](#) → [午前9時40分下校](#)



（最高学年の顔となっており、びっくりしました。どの生徒も真剣な眼差しで先生方の話を聞いていました。）

【2年生の様子から】 [午前10時登校](#) → [午前10時45分下校](#)



（休み中の課題はほとんどの生徒が全部やっていました。1年生の時とは顔つきが変わっていました。）

【1年生の様子から】 [午前11時登校](#) → [午前11時40分下校](#)



（登校時の元気なあいさつがとても印象的でした。中学生らしさをすごく感じ、今後がとても楽しみです。）

どの学年の先生方も生徒と同じくらい、すごく張り切っており久しぶりの再会を喜んでいました。全校生徒欠席者が0でした。みんな元気に登校できました。私も張り切って登校指導に出ましたが、どの学年の生徒もあいさつがきちんとできていました。大きな声で「おはようございます」、横断歩道を渡り終えて「ありがとうございました。」本当にすばらしいです。特に1年生は登校するのが今日で3日目、このような立派な行動がとれるのも白江小・白方小学校の先生方、そして、各家庭のご指導があつてのことと思います。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

今回は各学年で時間差をつけての登校とし、その後各学年のスタイル（内容）で進めていただきました。須賀川市教育委員会のご指導のもと短時間行うことであったため、1時間以内で下校させるよう共通理解を図りました。校長として全学年を参観させていただきましたが、どの学年もたいへんに心温まる内容であり、改めて本校職員の素晴らしさを感じました。例えば、**3年生では主任の石井徹弥先生から**コロナウイルスの怖さについて「みんな久しぶりの再会で嬉しいのは分かるが、もしも隣の人が感染していたらどうなる？その距離間で大丈夫？油断してはいけないこと。」とビシッと絞められ、**3年1組担任の安齋真奈美先生からは**、「みんな元気に登校してくれて本当に嬉しいこと。両親や家族への感謝の気持ちを忘れないこと。」と優しい声かけがあり、まるで厳しい父親と優しい母親を見ているかのようなようでした。どの学年の先生方も本当にいいお話をさせていただきました。短時間ではありましたが、内容の濃い、生徒一人ひとりの心に残るものであったと思います。



校内の様子から(パート1) ～ 名画を発見！！ ～

昨年度もご紹介いたしました、今回も偶然にまた同じ作者、**3年2組石井千愛さん**の作品でした。昨年度2年生時の入賞作品です。本当にすばらしい腕前で、私自身本当にうらやましく感じています。話は変わりますが、先日親戚が集まる機会があり、60過ぎの退職した男性3名の共通の話題は「絵」でした。それぞれに自分の好きな絵を描いているそうです。スマホを互いに見せ合い、近況報告していました。すばらしい趣味です。もしかして、石井さんは趣味の域を越え、将来有名な画家になっているかもしれません。夢と希望があり今後が本当に楽しみです。人に感動を与える絵や仕事をぜひ、生徒の皆さんも見つけてください。今回も石井さんの絵画は職員室入口の公衆電話の壁に掛けられています。どうぞご覧ください。



(福島県読書感想がコンクール優秀賞受賞)

校内の様子から(パート2) ～ ぶらりと校長の一人歩きより ～



(本校昇降口から周りを見渡すと、すばらしい光景が目に入ってきます。コロナに負けず頑張ろう！！)

◎ 本校ホームページ、4月22日(水)にアクセス数96万件を突破しました。こういう時だからこそ、楽しく明るい話題を数多く発信していきたいと考えています。生徒登校日の先生方の顔はいつもと違って、とてもいい笑顔ばかりでした。学校とは、生徒がいての学校であると、改めて感じることができました。